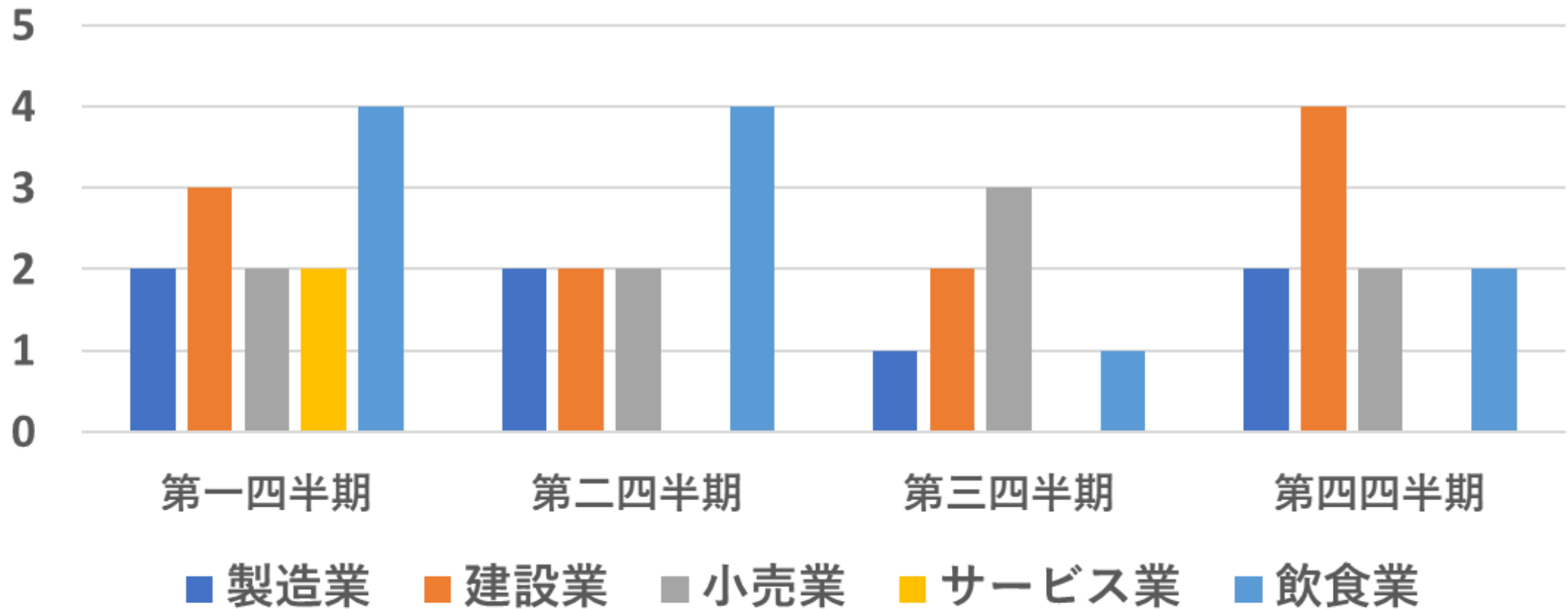


令和 5 年度景況調査 (総評)

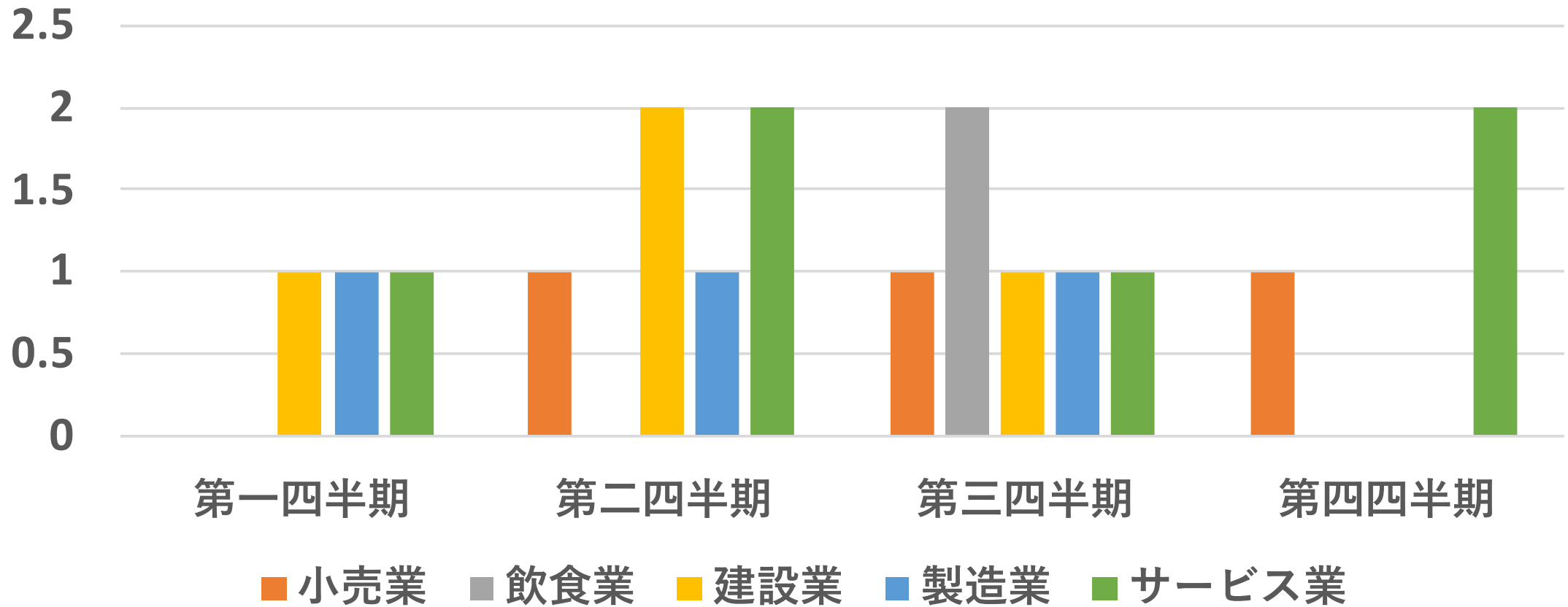
①-1 売上高について

売上増加事業所数推移（前年同期比）



①-2 売上高について

売上減少事業所数推移（前年同期比）

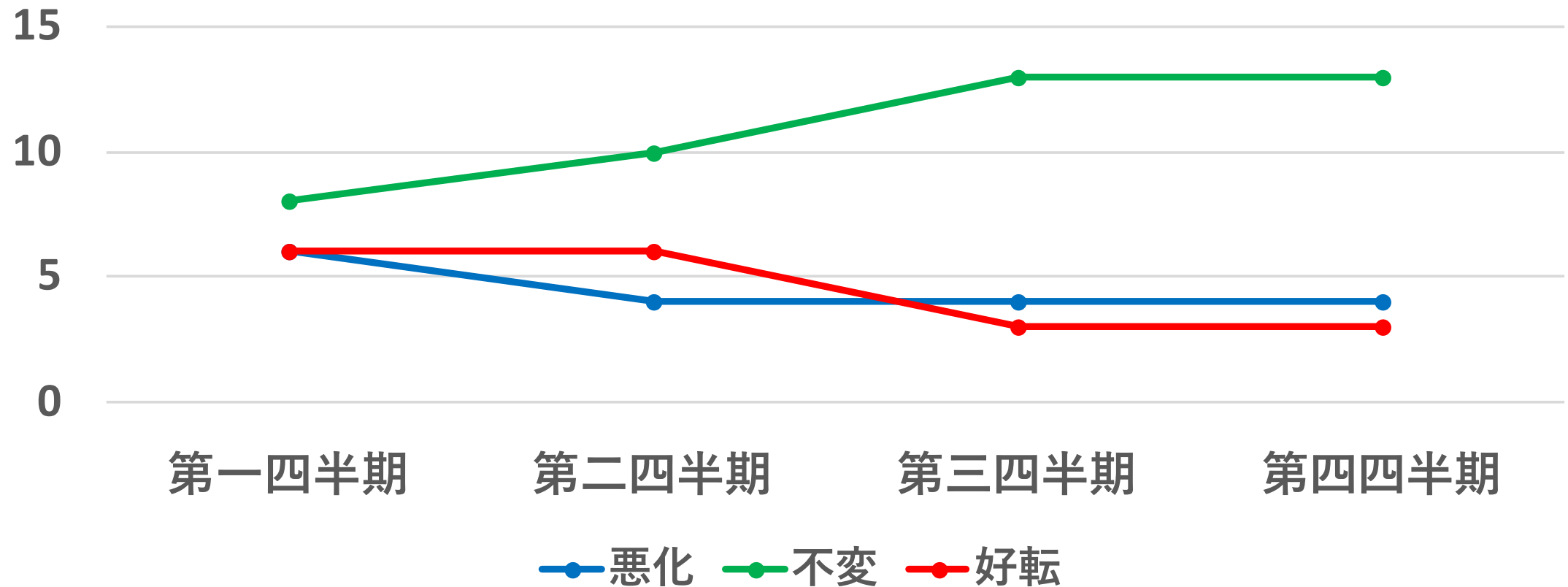


①－3 売上高について（総評）

- まず、建設業や飲食業が年間を通して売上高が増加している事業者が多く、令和2年から令和4年にかけてのコロナ禍で落ち込んでいた需要が回復していると推測されます。
- また、第4四半期では売上が減少したと回答した事業所数が近年の調査の中でもかなり少なく、全業種を通して経済活動が上昇傾向にあると思われます。

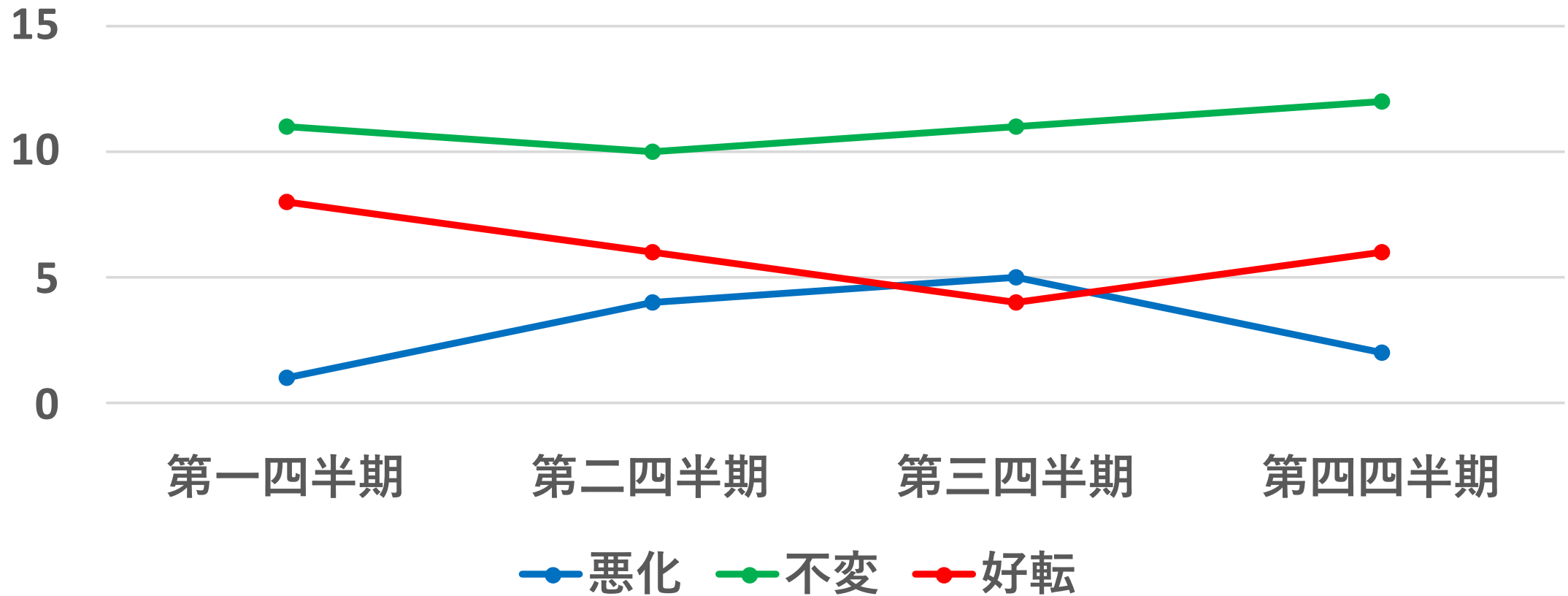
②-1 経常利益及び業況について

経常利益推移（前年同期比）



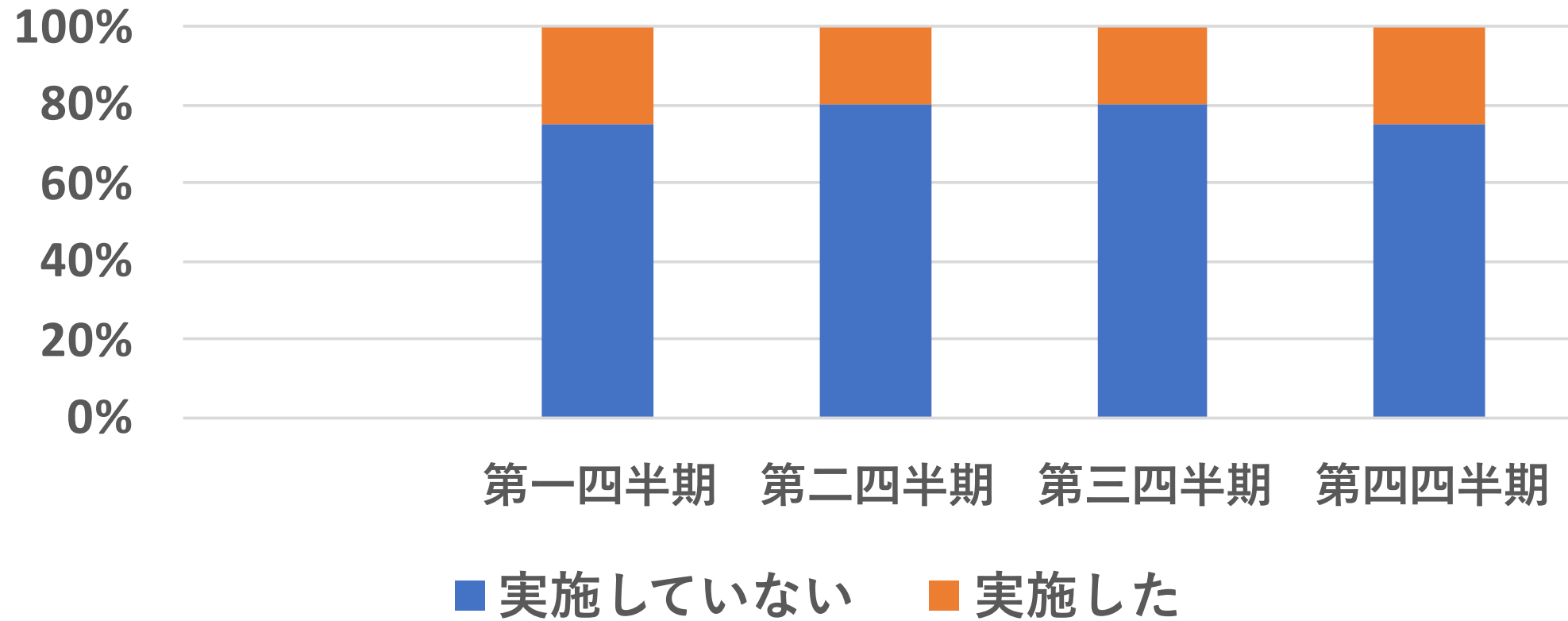
②-2 経常利益及び業況について

自社業況推移（前年同期比）



②-3 経常利益及び業況について

設備投資実施状況



②－3 経常利益及び業況について（総評）

- 調査対象事業者（20社）では、経常利益について1年を通して「不変」と回答する事業者が増加しており、令和4年度からの原材料価格の高止まりによる利益率の低下が続いていることが窺えます。
- また、自社業況については、第一四半期から第三四半期まで悪化する事業者が増加した一方、第四四半期に好転した事業者が増加しており、回復の兆しが見られます。
- 設備投資の実施についても、通年で全体の2割ほどに留まっており、依然として厳しい経営状況の中で、事業拡大には踏み出せない状況が続いています。

～まとめ～

令和5年度では、コロナ禍後の5類引き下げ等の政策変更から消費需要が増加し始め、緩やかではありますが経済活動が回復した一年であったかと思えます。しかし、昨年度から続く国際情勢不安等に起因する物価高騰とその高止まりが続いており、利益確保が非常に難しい状況が続いています。

商工会では、これらの状況を踏まえながら、来年度も国や県、町の支援施策の活用や、新たな経営の確立等、経営課題の解決に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

